

計画事業番号	00453	事務事業名	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2303
--------	-------	-------	----------------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例 北広島市暴力団の排除の推進に関する条例			
事務事業開始年度	平成20年度		個別計画等	北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境にまつまれた安全なまち
	(第 7 節)	防犯対策の推進
	(施策 1)	防犯意識の普及啓発
2 対象	市民	
3 目的と内容	市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画」に基づき、防犯意識の普及・啓発活動を実施する。 また、自主防犯活動団体の活動に対する活動資材等の支援や市内の各地区防犯協会をもって組織する北広島市防犯協会連合会が実施する、啓蒙活動や地域防犯協会で行う活動への援助などに対し交付金を交付し、市全体が一体となった防犯活動を展開する。	
4 実施内容 (手段)	2 8 年度 まで	地区防犯協会や自主防犯活動団体、警察等と連携し、犯罪の起きにくいまちづくりを推進するほか、自主防犯活動団体等に対し防犯資機材の支援を行う。 ・北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画の進行管理 ・北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議の開催 ・市民大会の開催 ・自主防犯活動団体等に対する防犯資機材の支援 ・各地区防犯協会と連携した防犯街頭啓発の実施 ・北広島市防犯協会連合会への交付金交付 ・生活安全情報北広島の発行や市ホームページを活用した情報の発信 ・老人クラブでの防犯教室 ・自治連合会との共催による防犯教室の開催(H28)
	2 9 年度	昨年同様、地区防犯協会や自主防犯活動団体、警察等と連携し、犯罪の起きにくいまちづくりを推進するほか、犯罪発生状況などの把握に努め、迅速な対応の検討・実施を図る。また、引き続き自主防犯活動団体等に対し防犯資機材の支援及び交付金の交付を行い、市が一体となった防犯活動を展開する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催1回、市民大会の開催、市公用車青色回転灯パトロール2台、歳末地域安全街頭啓発の開催、老人クラブでの防犯教室の実施、実践型防犯教室の開催、広報啓発活動、自主防犯団体への資材支援、交付金額 617,212円	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 老人クラブでの防犯教室 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付	推進会議の開催 市民大会の開催 公用車による青色回転灯パトロールの実施 普及啓発活動の実施 自主防犯団体への資材支援 北広島市防犯協会連合会への交付金の交付 推進計画の見直し策定

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	刑法犯件数は減少傾向にあるものの、依然として年間200件を超える窃盗犯罪や高齢者を狙った特殊詐欺、子どもに対する声掛け事案が市内で発生していることから、厚別警察や各地区防犯協会等と連携し、防犯パトロールや啓発活動の強化を図る。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			880		934		985		985	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	880		934		985		985	
	① 合計	880		934		985		985		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.50	0.10	0.50	0.10	0.50	0.10	0.50
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	840	2,250	840	2,250	840	2,250	840	2,250
総事業費①+④			3,970		4,024		4,075		4,075	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 防犯協会連合会交付金	目標値	円	628,000			
		実績値		617,212			
	② 市民大会等街頭啓発の開催及び参加回数	目標値	回	5	5	5	5
		実績値		7			
③ 生活安全情報北広島の発行回数	目標値	回	2	2	2	2	
	実績値		2				
④ 老人クラブでの教室開催回数	目標値	回	25	25	25	25	
	実績値		26				
成果指標	① 犯罪発生認知件数 【指標の定義(算式等)】	目標値	件	300	300	300	300
		実績値		342			
	② 不審者情報件数 【指標の定義(算式等)】	目標値	件	0	0	0	0
		実績値		21			
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	北広島市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例に基き、犯罪の起きにくい環境で市民が安心して暮らせるまちづくりを推進することは、市の役割であるため、事業は妥当である。 また、犯罪のない安全で安心なまちは市民共通の願いであり特定の個人や団体に偏っていない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	平成28年12月末の刑法犯数は342件であり、5年前の平成23年と比べると約250件減少した。 また、防犯資機材の提供などによって、街頭啓発を実施する団体への支援が強化されている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	今後も防犯意識の普及や啓発活動を継続して行うとともに、自主防犯活動への防犯資機材の支援強化を図り、警察や防犯パトロールを行う自主防犯活動団体等と連携し、市全体の意識を高めることにより、犯罪の抑止に効果が期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	最小限の費用で事業を実施していたため、削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号	453
--------	-----

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市防犯協会連合会交付金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市防犯協会連合会 会長 中道 廣	設立年	
構成員(団体)数	10団体(単位防犯協会) (29年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	犯罪のない社会を理想として、市内住民の防犯思想の高揚に努めるとともに、単位防犯協会の円滑な発展を促すことを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	インターヴィレッジ大曲前・ジョイフルエーカー前・フードD前・コープ前での街頭啓発、夏の地域安全運動として夏祭り・盆踊り会場でのパトロール、全国地域安全運動期間や歳末地域安全運動期間におけるエルフィンパーク市民交流広場での市民大会の開催及び街頭啓発、青色回転灯パトロール隊による見回り活動の実施、小学校児童の登下校時の見守り活動		
事務局の状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

区 分		27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	604	618	628	
	繰越金				
	収入合計(B)	604	618	628	
支 出	活動費	395	390	395	
	需用費	41	36	55	
	報償費	2	23	8	
	役務費	6	8	8	
	負担金	160	161	162	
	支出合計(C)	604	618	628	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		100%	100%	100%	
補助・交付金の対象経費(項目)		全項目	全項目		
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		604	618		
対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)		100%	100%	%	

補助・交付金の算出根拠

(平成29年度)

- ・地域防犯協会交付費「1地区20千円×10地区」
- ・札幌厚別・北広島防犯協会連合会負担金の算出根拠「1世帯6円×27,095世帯(H29年1月末現在の住民登録世帯数)」
- ・青パト活動費「1台5千円×39台」
- ・街頭啓発等事業費